

ビデオ分析支援ツール“動画眼”、“動画眼 Note”について

■ソフトウェア概要

製品のユーザビリティ(使いやすさ)評価のために、開発者以外のユーザに製品を試用してもらい、どこでつまずいたり間違えたりするかを検証するユーザテスト。そこでは後の分析のためにビデオ記録を行うのが一般的ですが、後の分析工程でそれが活用されていないケースがほとんどです。主な理由に「時間がかかりすぎるから」というものがあります。時間がかかる理由にも色々あるかと思いますが、ひとつには多くの現場では DV や VHS などのテープメディアで記録を行っており、見たいシーンに辿り着くまでに早送り、巻き戻しなどで膨大な時間を費やしてしまう、ということがあります。DVD レコーダーを用いることで、早送り、早戻し自体はより高速になりますが、本質的には利便性は大差ありません。

動画眼(どうががん)では、その問題点を克服するために、PC 上で再生できる動画ファイルによる記録を行い、分析時、あるいは記録時に特定のカットに文字によるタグ付けを可能にします。一度タグ付けしたシーンは後から簡単に頭出しして視聴することが可能です。

■特長

この手のソフトは以前から存在するのですが、業務用で高価だったり、海外製品ばかりで日本語で気軽に試せるものが見つかりませんでした。そこで、どこかでお役に立てばと製作、公開することになりました。

業務用の製品に比べれば検索など細かい機能は劣りますが、主な特長としては以下のようなものがあります。

- ・フリーソフトウェアである
- ・オープンソースソフトウェアであり、自由にカスタマイズができる(VisualBasic.NET で製作)
- ・動画記録システムからは完全独立で、タイムコードだけを目測で合わせて記録するというややアナログな仕組みを採っているため、専用のハードウェアを用意しなくても使える。
- ・ログファイルは単純なタブ区切りのテキスト形式のため、複数人で記録したメモや、シミュレーターなどから生成したログなどを簡単にマージすることができる
- ・キーボードショートカットを多様するキーボード主体の操作体系

■各ツールの違い

- ・動画眼

主に分析などの後工程で利用するツールです。

動画を再生しながらタグ付け(メモ書き)をしていくツールです。ショートカットで指定秒数進んだり戻ったりが瞬時にできるため、同じところを繰り返し見返し、詳細な発話プロトコル起こしなどに利用できます。また、プレゼンテーションなどで特定のシーンをさっと頭出しして見せたい場合などにもお使いいただけます。

・動画眼 Note

テスト中にリアルタイムでタグ付けを行うツールです。

なにかしらのビデオ記録機材と組み合わせて利用します。後で動画眼に読み込んだ際の時間同期のため、あらかじめビデオ機材のカウンタを目測で読んで初期化して利用します。

テスト中の記録負荷を下げるため、6種類の定型文を挿入、編集できる機能を備えています。

実際の利用スタイルとしては、まず動画眼 Note でテスト中に記録をとり、あとでそのログを動画ファイルと一緒に動画眼で読み込んで見返したり、更にメモを書き足したりする、という感じだと思います。また動画ファイルと見所にタグ付けしたログと動画眼をセットでクライアントに納品する、というような使い方も可能です。

各ツールの詳細な利用方法はそれぞれのマニュアルをご覧ください。

■動作環境

- ・Windows が稼働する PC
- ・.NET Framework 3.5
- ・Windows Media Player 9 以上(動画眼 Note のみなら不要)

動画眼シリーズの実行には.NET Framework 3.5 が必要です。通常は動画眼のインストーラー実行時に自動的にダウンロード、セットアップが行われます。上手くいかない場合は WindowsUpdate から導入するか、下記配布サイトより取得してインストールして下さい。

<http://www.microsoft.com/japan/msdn/netframework/downloads/>

動画眼で、起動はするが、動画を読み込めない、という場合は、WindowsMediaPlayer のバージョンが古いことが考えられます(WindowsXP の標準状態では 8。最新は 11 です)。

本ツールは動画再生に WindowsMediaPlayer のコンポーネントを用いています。対応する動画ファイル形式は、WindowsMediaPlayer で再生できるものとなります。扱いたい動画を、まず WindowsMediaPlayer で再生できるかどうかを確認してみてください。また同梱の「動画形式について.pdf」もご参照ください。

■ログ形式について

動画眼、動画眼 Note が出力するログは至極単純に、

00:24:05<TAB>タグ内容<改行>

00:30:49<TAB>タグ内容<改行>

というフォーマットです。左端の数値は動画ファイルの先頭からの経過時間です。例えば Flash や Director などシミュレータを作成してユーザテストを行う場合、画面遷移などのタイミングでこの形式のログを出力するようにしておけば、後で観察記録と簡単にマージをして動画眼に取り込むことができます。

■利用条件

どなたでも無償でご利用いただけます(カンパは歓迎です)。

ただし本ツールを使った結果については一切責任を負いません。まだまだバグもあろうかと思いますので、業務でご利用の前に、事前の動作確認を入念にされることをオススメします。

■公式サイト

<http://do-gugan.com/tools/>

バージョンアップなど最新情報は以下のブログに掲載していますので、最新版を追いかけてたい方は下記を RSS リーダーなどに登録されることをオススメします。

<http://do-gugan.com/blog/>

■要望、コメント、カンパのご相談など

古田@道具眼までお気軽にお寄せ下さい。できる範囲で対応させていただきます。

furuta@do-gugan.com

<http://do-gugan.com/>